

- 2 特集 研究～広島修道大学の知を活かす～  
①新型コロナウイルス感染症流行下での研究  
②地域とともに歩む ひろしま未来協創センター

## Topics

- 9 新型コロナウイルスワクチン職域(大学拠点)接種を実施  
第2グラウンド人工芝を改修 スポーツロゴを配置  
健康科学部健康栄養学科が株式会社藤三とおむすび3種を共同開発・発売  
オンラインスタジオを設置  
大学公式Instagramを開設

付録 ランキングに見る広島修道大学

- 12 Campus News

- 16 修大人

- 17 卒業生からの便り

- 18 Circle Information

- 20 刊行物／受賞報告

- 21 Event Guide

- 22 Campus Photo Message／アンケート



●表紙撮影場所:3号館

2013年に竣工した現在の3号館には、天然木に囲まれたシンプルで落ち着いたデザインの大教室や大学院研究室、教員研究室があります。また、3号館のエントランスには、広島修道大学の歴史について知ることができる展示スペースを設けています。

## 「Truth」—そのネーミングの由来—

Since 1972

Truth 真理・真実・真相 大学広報誌のめざすべき、  
Rapidly 速く 真理・真実・真相をできるだけ速く、ひろく、しかも思慮深く、  
Universally ひろく 誠実に伝えることをモットーとして、ここに「TRUTH」  
Thoughtfully 思慮深く が生まれました。  
Honestly 誠実に

## 道を修める

「修道」という名は、古典の一つ『中庸』の「天命之謂性 率性之謂道 修道之謂教」(天の命ずるこれを性といい、性に率うこれを道といい、道を修めるこれを教えという)に由来します。この意味は「人間にはそれぞれの天性がある。天性を伸ばすのが人間の道である。その道をしっかりとしたものにするのが教育である。」という意味に解されます。「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材の養成」を理念、教育目標として掲げ、その精神をもとに、広島修道大学はさらに未来をめざします。



広報誌「Truth」は、春・夏・秋・冬と年に4回発行し、保証人の皆さまにもお送りします。本誌へのご意見などありましたら、下記までお寄せください。本誌の記事・写真などの無断転載を禁じます。



広島修道大学

学長室総合企画課

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1

TEL 082-830-1102 FAX 082-830-1324

WEBサイト <https://www.shudo-u.ac.jp/>



## 特集

### 研究～広島修道大学の知を活かす～

- ①新型コロナウイルス感染症流行下での研究  
②地域とともに歩む ひろしま未来協創センター



- Topics
- ランキングに見る広島修道大学
- Campus News
- 修大人
- 卒業生からの便り
- Circle Information
- 刊行物
- 受賞報告
- Event Guide
- Campus Photo Message
- アンケート

# 研究 特集

## ～広島修道大学の知を活かす～

大学には、教育機関としての役割以外に、研究機関としての役割もあり、これらの成果を社会に還元しています。

今回は、本学の研究をテーマに、教員の研究と研究を活かした社会貢献についてご紹介します。

### 特集 1 → P3

#### 新型コロナウイルス感染症流行下での研究

昨年より世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症。

新型コロナウイルス感染症の流行は、私たちの生活に大きな影響を与えました。

ここでは、本学教員の研究分野において、どのような影響を与えたのかを研究した結果やコロナ禍の中で今後どのような研究を行っていくかをご紹介します。

### 特集 2 → P6

#### 地域とともに歩む ひろしま未来協創センター

ひろしま未来協創センターでは本学の研究活動を支えるための業務や研究を活かした社会貢献事業を行っています。

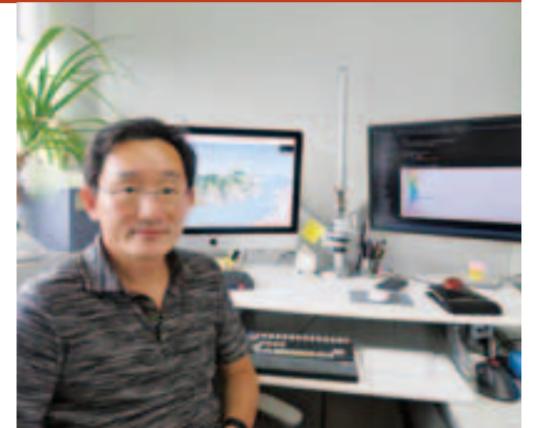
ここでは、研究を活かした社会貢献事業をご紹介します。

## 特集 1 新型コロナウイルス感染症流行下での研究

### ビッグデータやAIを活かした観光研究

商学部商学科 教授  
金徳謙 (きむとくけん)

2003年立教大学大学院観光学研究科博士課程後期課程単位取得満期退学。修士(観光学)。立教大学観光学部助手、(財)日本交通公社客員研究員、香川大学経済学部教授などを経て2018年より現職。専門は観光学、ビッグデータを題材にする観光研究を行っている。主な著書に『観光学へのアプローチ』(共著)(美巧社)、『これで使えるQGIS入門』(ナカニシヤ出版)など。



私の専門は観光学で、主に観光者の行動に着目し、行動分析(空間分析)、テキスト分析、画像分析などを主な分析手法として研究をしています。3つの共通点は、取り扱うデータの量が多いことや定量分析を行うことです。いわゆるビッグデータを題材にする観光研究といえばわかりやすいと思います。

1つ目の行動分析では、観光者が観光地を回遊する行動を、GPSを用いてデータを収集し分析することで、観光地内での正確な行動パターンを捉えることを研究しています。従来は、観光者にアンケートをとって分析する方法が主でしたが、GPSを用いることによりデータの信頼度が格段に向上することがメリットです。2つ目のテキスト分析では、観光者の意識・欲求・関心やトレンドを分析する研究をしています。SNSやインターネットの観光関連サイト、例えば、Trip Advisorやじゃらん、Google Travelなどの観光関連サイト上に掲載されている口コミなどを収集し、観光者の欲求や意識、観光地への評価(要望)などを分析する研究をしています。アンケートなどによる分析に頼る従来の方法に比べると観光者の本音を読み取ることができるといった特徴があります。3つ目の画像分析では、観光者が撮影しSNSなどに掲載した写真を収集し、居住地別に、誰が・いつ・どのような写真を・何枚撮影した

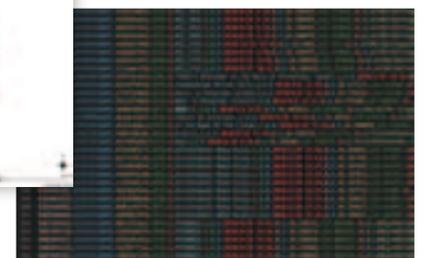
のかなどを分析することで、観光者の関心が寄せられた場所やもの、また観光地での回遊ルートを、いわゆるAI(人工知能)を利用し分析する研究をしています。実際の観光者の行動によるデータを分析するため、観光者や観光地の特徴を正確に分析することができます。データの収集や分析、信頼度の検証などに難点もありますが、従来の研究方法では難しかったことが解明できるメリットもあります。

世界的な新型コロナウイルス感染症の流行により、外国人観光客の訪日ができなくなりました。その上感染症対策のための行動自粛により、国内観光客も激減しています。このような状況下で観光地に赴く研究は難しくなった一方、ビッグデータやAIを用いる研究はコロナ禍でも影響が少なくすすみます。観光者の行動を、データに基づいて分析する研究であるため、研究の結果をだれでも再現することができます。

新型コロナウイルス感染症終息後、観光客は次第に戻ってくると思いますが、ウイルスの流行は観光者の行動を変えてしまっているでしょう。地域間の観光客誘致の激化なども生じ、従来どおりの対応では誘客を含む観光による効果は期待できないと思います。的確な対応のため、観光者のニーズ(観たい・行きたい・やりたい)や、観光者の地域に対するまなざしの変化を、観光者側に即して正確に把握することの重要性が増すでしょう。先述のような研究結果を活かせば、地域や観光業が観光者のニーズにあうモノやサービスを提供することができるでしょう。この類の研究はコロナ禍によりどん底に落ち込んだ観光を即座に良くする研究ではありませんが、チャンスが来た時、観光者が望むモノやサービスを提供するという、適宜な対応を可能とする必要な研究といえます。



取得画像の撮影箇所と撮影枚数のGIS分析図



SNS上から取得した画像データ(約3万5千点)

## 情報の力で新しい学びを進める！ 学び方が変わる！

経済科学部経済情報学科 教授  
阿濱 志保里 (あはましほり)

2017年山口大学大学院東アジア研究科東アジア教育開発コース博士課程修了。博士(学術)。京都大学大学院医学研究科協力研究員、京都外国語大学、山口大学知的財産センター等を経て、2018年より広島修道大学経済科学部准教授、2021年より現職。主要研究テーマは情報社会学。著書に『インターネットの光と影ver6』(共著)(北大路出版)。



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2020年2月27日の第15回新型コロナウイルス感染症対策本部の会議において、安倍総理(当時)は全国の小中学校、高校、特別支援学校を対象に2020年3月2日より臨時休校を要請しました。それを受け、文部科学省は「休校措置に関わる要請」を各都道府県の教育委員会に要請しました。要請を受けた各都道府県、各市町村の教育委員会では、休校中の児童生徒の家庭学習を支援のため、ICT(情報通信技術)を活用した学習活動を取り入れることも念頭に検討が行われました。大学も例外ではなく、4月以降になっても感染拡大が続くことから、「3密」を避けた学習環境として、多くの大学で場所を同一としない学び方である「遠隔教育」の実施に切り替えが図られました。

テレワークや在宅勤務などの働き方



遠隔教育の様子

の変化のみならず、日常の過ごし方、人との距離など、多くの「ノーマル」が「ニューノーマル」として意識づけられる場面も多くありました。大学などの教育機関においても、ソーシャルディスタンスが求められ、これまで「ノーマル」とされていた講義室で多くの人が一緒に学ぶことから、「ニューノーマル」へ『学び方』の変革が求められました。

コロナ禍により、注目を受けている「遠隔教育」ですが、約20年前からさまざまな学習の場面で議論されてきました。これまで文部科学省では「遠隔教育」を特別な学習の方法として位置付けることから始まり、小規模でも大規模授業を受けることができることなど、より質の高い教育活動を行うための方法として推進されてきました。しかし、家庭学習をすべての児童生徒、学生に提供するという目的が新たに加わったことから、大きな転換期を迎えました。

そこで、2020年4月から5月にかけて、社会状況の変化に伴い、遠隔教育がどのように実施されているか調査を行いました。その結果、遠隔教育は、学習者の学びを継続させるため、「すべての児童生徒、学生のための学習方法」としての役割を担い、学習者の

状況に合わせて既存のツールやプラットフォームを活用しながら、さまざまな教育活動が行われていることが分かりました。緊急措置としての位置づけの「遠隔教育」から恒常的な学びとしての「遠隔教育」への議論が進んでいます。「遠隔教育」についてはこれまでの考えや定義を超え、多様な学習者の学びのニーズを支援することが求められています。また、実際の学びを支援する情報通信環境などの学習環境については、すべての学習者に配置し、運用していくことが期待されています。教師側にも学習者側が使いやすい「ユニバーサルデザイン」の考えを基にした学びの環境が展望されます。

コロナ禍の中、持続的な学びを保障することを第1の目的で始まった遠隔教育ですが、最も重要なのは、学習者目線に立った「学習の充実」です。どのような内容をビデオ教材にすることがいいのか、どんな学習内容に効果があるのか、より学習の質を上げるためのICTをどのように活用していくのか、学習者に質の高い学習機会を提供するために実践的な観点から解明していくことは重要です。

教育実践の検証や評価を通じて得られた知見を各教育課程で蓄積・共有し、ICTを活用した学び方の効果を科学的に解明することは、すべての学習者への「学習の機会」の充実につながることであります。

## 新型コロナウイルス感染は自業自得？ 国際比較研究

健康科学部心理学科 教授  
中西 大輔 (なかにしだいすけ)

2003年北海道大学大学院文学研究科人間システム科学専攻博士後期課程単位取得満期退学。博士(文学)。広島修道大学人文学部講師等を経て2017年より現職。社会的文脈における意思決定について研究をしている。著書に『あなたの知らない心理学』(共著)(ナカニシヤ出版)など。



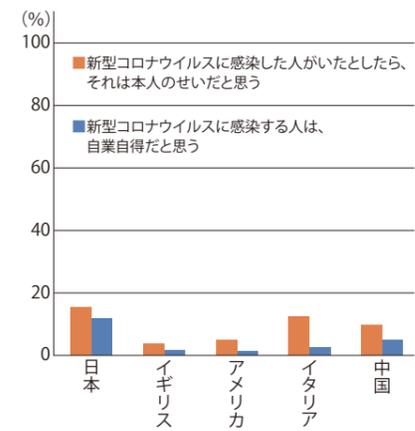
今年もわれわれは新型コロナウイルス感染症との終わりの見えない戦いの渦中にあります。昨年の春、私は慶應義塾大学の平石界教授、大阪大学の三浦麻子教授<sup>※1</sup>とこの度の感染禍に対する人々の反応データを収集することにしました。

2020年の3月から4月にかけて、日英米伊中の5カ国で「内在的公正推論」に関するデータを集めました。内在的公正推論とは「不幸な目に遭ったのはその人が何か悪いことをしていたからだ」と考える傾向のことです。日本人は比較的そうした推論をしやすいというデータがあったため、感染したのは自業自得だと考えやすいのではないかと考えました。具体的には「新型コロナウイルスに感染した人がいたとしたら、それは本人のせいだと思う」と「新型コロナウイルスに感染する人は、自業自得だと思う」という意見にどの程度賛成するかを尋ねました。「自粛警察」の問題についてもよく言われていたので、非常時に人権を制限することについて、どの程度容認するかどうかを尋ねました。「非常時には、他の人たちが政府の方針に従っているか、一人ひとりが見張るべきである」、「非常時には、他の人たちを政府の方針に従わせるために、個々人の判断で行動を起こして良い」という項目です。

※1 他の研究メンバーとして、Andrea Ortolani(立教大学特任教授)、山縣淳生(大阪大学大学院)、三船恒裕(高知工科大学准教授)、李楊(名古屋大学)。

調査は2020年3月下旬と4月下旬に行い、各国とも400名以上の一般市民のデータをインターネット調査により収集しました。内在的公正推論についてはどの国も比較的低い値でしたが、その中で最も高い値を示したのが日本でした。「本人のせいだと思う」項目で肯定的な回答をした者は日本15.25%、イギリス3.49%、アメリカ4.75%、イタリア12.31%、中国9.46%でした。「自業自得だと思う」項目でもこのパターンは同様で、日本では11.50%が肯定的な反応であったのに対して、他の4カ国は最も高い中国でも4.83%でした。

■内在的公正推論の肯定率



自粛警察についての問いに対しては、日本は他国に比べて低い値を示していました。「見張るべきである」項目への反応の平均値は日本が最も低く、「行動を起こして良い」項目への反応の平

均値はイタリアに次いで低い値でした。2020年7月下旬から8月上旬にかけて日英米の3カ国を対象に行われたよりサンプルサイズを大きくした調査でも、2021年3月に5カ国を対象に行った調査でも同様のデータが得られました。

新型コロナウイルスへの感染は、必ずしも本人のせいではありません。予防対策を万全にしている人でも感染しているケースは多くあります。日本人はなぜ、新型コロナウイルスへの感染を自業自得だと冷酷に突き放すようなことをするのでしょか？ しかし、この問いに答える前に、もっと注目すべきことがあるように思います。日本人は確かに、他国に比べて感染は自業自得だと見なす傾向は強いのですが、それでもそう考えるのはせいぜい10%ちょっとです。それ以外の大多数の人々はそんなふうには考えていないのです。日本では強制力を伴わないロックダウンなしでも(今のところ)他国と比べて被害が低く抑えられています。このことと内在的公正推論がどう関係するかもまだ分かっていません。自粛警察傾向が直感に反して低かった原因も分かりません。分からないことだらけですが、われわれ社会心理学者はデータを地道に集めることで、非常時の人間の心理を少しずつ解き明かしていきたいと思います。

## 特集 2 地域とともに歩む ひろしま未来協創センター

### 研究を活かし 社会に貢献

広島修道大学は、地元経済界の要請を受け、地域の発展に貢献する人を育てることを教育の使命として発足した背景から、地域と強い結びつきがあります。

ひろしま未来協創センターでは、主に研究支援と社会貢献支援を行っており、大学と地域の橋渡し役として、本学の知を社会に還元する取り組みを行っています。

企業・団体が抱える課題と各教員をマッチングする「ひろみらシンクタンク」では、受託研究や講演の依頼等を受け付けています。また、「ひろみらシンクタンク」の一つである「ひろみら地域協創スタジオ」は、教員の研究を活かし、地域課題の解決に向けて取り組みます。そのほかにも教員が講師となって地域の方向けの講演・講座を開き、生涯学習を推進する「修道オープンアカデミー」や学生が主体的に

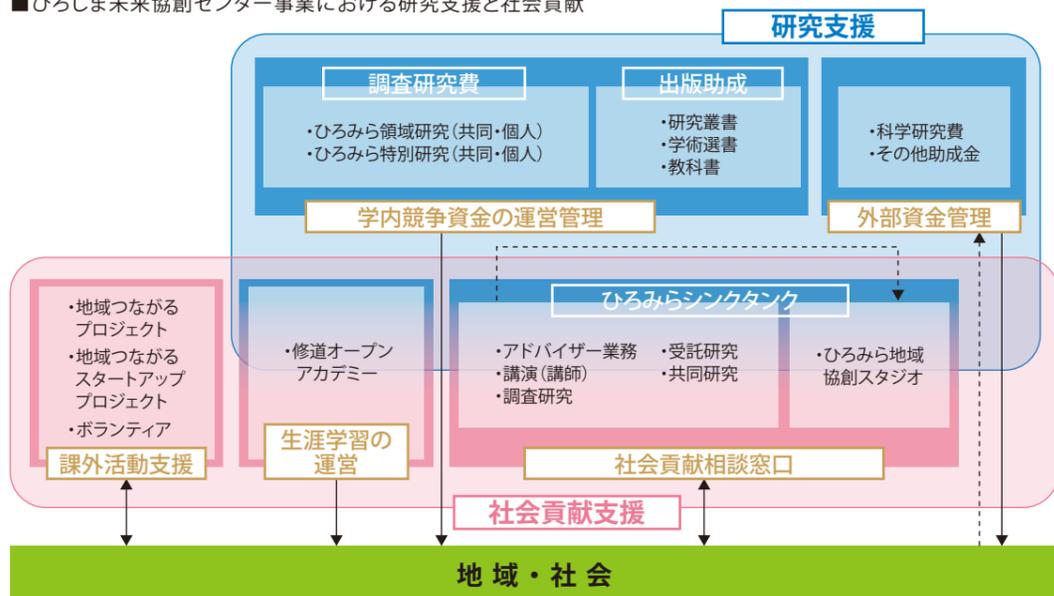


ひろしま未来協創センター  
矢野泉センター長

地域課題に取り組む「地域つながるプロジェクト」、学生のボランティア活動の推進等も行っています。

私たちひろしま未来協創センターは「何か困ったことがあった時には広島修道大学」と言ってもらえるような、地域の方に頼っていただける存在をめざしています。

■ひろしま未来協創センター事業における研究支援と社会貢献



特集2は長期インターンシップ参加学生が作成しました

### 学生の地域活動支援

ひろしま未来協創センターでは、「地域つながるプロジェクト」やボランティア活動など、学生が主体となって行う地域での活動のサポートをしています。

「地域つながるプロジェクト」とは、学生が地域の方々とともに、地域課題を発見し、課題解決に向けて行動するプロジェクトです。これまでに124プロジェクトに延べ1,400名の学生が、地域で活動したい思いや地域の方とコミュニケーションを取りたいという思いを持ち参加しました。地域から頼まれたことにただ取り組むのではなく、地域課題を発見し解決に向けた方策を考える一連の流れを経験することで、課題解決力を身につけることができます。

また、今年度より「地域つながるプロジェクト」の前段階として、地域での活動に必要な心構えや知識を身につけることができる「地域つながるスタートアッププロジェクト」を新



ひろしま未来協創センター  
川瀬正樹センター次長

設しました。

大学生は社会人よりも時間がある分、失敗を含め、今しかできない経験をたくさんしてほしいです。その手助けとして「地域つながるプロジェクト」などの大学の制度を活用してください。



公式WEBサイトでは、「地域つながるプロジェクト」・「地域つながるスタートアッププロジェクト」に参加する学生のインタビューを掲載しています。



#### PICK UP!

#### 【ひろみら地域協創スタジオ】

「ひろみら地域協創スタジオ」は、2018年度から大学がプロジェクト的に実施してきた「ひろみらイノベーションスタジオ」をより進化させようと思直しを行い、2021年度からひろしま未来協創センターの事業として継承し再スタートしたものです。「ひろみら地域協創スタジオ」とは地域課題を学問的・実践的に紐解き、その解決の方途を、当事者意識を持ち多様な経験と能力を持つ人、当該地域課題の解決に意欲的な人が集まって議論をする集団および場です。スタジオでは、本学と連携協定を締結している企業・団体が抱える地域課題の解決に向けて取り組みます。この事業を通して、企業や自治体との関わりをより深めたいと考えています。

#### PICK UP!

#### 【地域つながるスタートアッププロジェクト】

これまで行ってきた「地域つながるプロジェクト」には、①地域で何か活動をしたいと思っているが何をしたらいいのかわからない低学年の参加が難しい、②地域の課題を発見する以前に地域の知識が乏しい、という課題がありました。この課題を解決するため、「地域つながるスタートアッププロジェクト」では、低学年を対象に、まずは地域を知って課題を発見する活動を行います。また、地域の方との活動や学生同士の活動を円滑に進めるための心構えなどもしっかりと勉強します。「地域つながるスタートアッププロジェクト」で地域課題を発見した学生たちが、「地域つながるプロジェクト」で課題解決に向けた取り組みを行うことをねらいとしています。

新型コロナウイルス感染症の感染予防をしつつ社会貢献活動を行うため、以下のような取り組みも行っています。

### 【修道オープンアカデミー】

生涯を通じた学びに対応するため、高校生以上の一般市民の方に向けて「修道オープンアカデミー」を開講しています。公開講座(無料)とエクステンション講座(有料)の2つの講座があります。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として、オンラインで開講しました。

#### 参加した方の感想(公開講座)

- ・Q&A機能を使って質問ができ、講師の先生から丁寧に回答していただき良かったです。
- ・30年ぶりの大学の講義にわくわくしました。娘がオンラインで授業を受講していたので、私も興味がありました。夢がかないました!

### 【オンライン中学生キャンパス見学会】

「中学生キャンパス見学会」は、中学生のキャリア形成を目的に、地域貢献事業の一環として2008年度から開催しています。2019年度までは対面でキャンパス内を紹介していましたが、2020年度からは新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響によりオンラインで開催しています。オンライン上で、本学学生が企画から携わった動画の視聴や、在学生との同時双方向オンライン交流、本学教員による模擬講義などのプログラムを行っています。



## 私たちが作成しました!

「特集2」は長期インターンシップ参加学生が取材・執筆を行いました。



永見 僚太郎  
(国際コミュニティ学部地域行政学科 3年)

作成を通して、大学には自分の知らないことがまだまだあると思いました。初の取材ということで難しさもありましたが、私自身とてもよい経験になりました。



廣本 涼花  
(商学部経営学科 3年)

今回、取材をしてみて、伝えたいと思う内容がとても多かったのですが、限られた文字数に収めることや、要約することがとても難しかったです。



続木 正心  
(法学部国際政治学科 4年)

私は将来広報関係の仕事に就きたいと考えているので、今回実際に広報という仕事のスケジュール管理や仕事の流れ、文章の推敲などを経験できたことは大変勉強になりました。



崎永 琉弥  
(人間環境学部人間環境学科 3年)

取材終了時には十分に材料を収集したと思っていましたが、いざ記事を書く場面になるとなかなか言葉が思いつかず苦労しました。広報業務の難しさを実感した実習でした。

# Topics Hiroshima Shudo University

## Topics 1 新型コロナウイルスワクチン職域(大学拠点)接種を実施(7/20~23、8/17~20、28)



学校法人修道学園と学校法人古沢学園が共同で、広島修道大学の学生、教職員等の希望者を対象とした新型コロナウイルスのワクチン職域(大学拠点)接種を第1回目接種7月20日~23日、第2回目接種8月17日~20日、追加接種8月28日の日程で実施しました。

今回のワクチン接種には広島都市学園大学の医師・看護師や本学の医師をはじめ、広島県看護協会や広島県薬剤師

会、および広島大学の医師にもご協力いただき、1日当たり最大2,000名の接種を行いました。

ワクチンの接種にあたっては、学校法人修道学園と学校法人古沢学園の学生・教職員をはじめ、近隣の教育機関等からも希望予約を受け付け、7,100名以上が2回接種を受けました。

## Topics 2 第2グラウンド人工芝を改修 スポーツロゴを配置(9/21)

9月21日、第2グラウンドの人工芝改修工事が完了しました。第2グラウンド内にある人工芝は、2009年度の設置以降、授業や課外活動などの場面で使用されてきました。このたび、競技者への負担や怪我のリスク軽減などの安全面を考慮し、人工芝を改修しました。この改修では、人工芝の改修やLED照明の設置のほか、開学60周年記念として制作したスポーツロゴを配置しました。

新しくなった第2グラウンドを使用したサッカー部員は、「今までのグラウンドよりも良い環境を整えていただいたので、全国大会に行けるよう頑張りたい」と意気込みを語りました。



## Topics 3 健康科学部健康栄養学科が株式会社藤三とおむすび3種を共同開発・発売

健康科学部健康栄養学科が株式会社藤三とおむすび3種を共同開発しました。今回の共同開発は、広島県内にスーパーマーケットを展開する株式会社藤三から「ひろみらシンクタンク」\*へ「食を通じた広島の活性化」や「新しい発想力による商品開発・発売」について依頼を受け、健康科学部木本晶子助教と健康栄養学科の2年生を中心とする有志学生が7月より打ち合わせや試作を重ね実現しました。

「おこむす」は、「手軽にひろしま名物お好み焼きの味を」というコンセプトのもと完成しました。レモンとイカ天を使っ



おこむす



大葉が香る!ちらし握り&レモンとイカ天ちらし握り

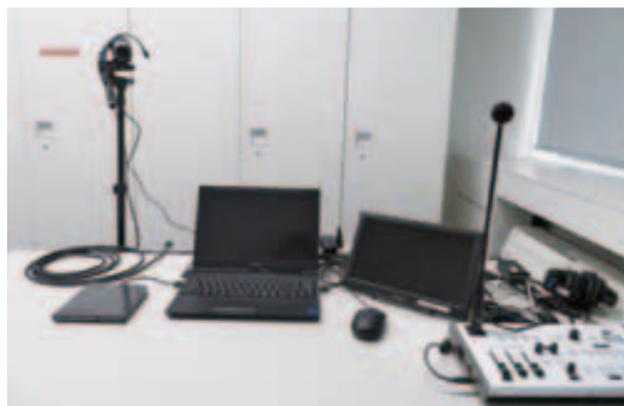
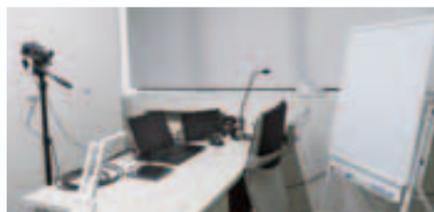
た「レモンとイカ天ちらし握り」は開発段階でご飯を白米から酢飯に変更し、生姜をアクセントに加えました。「大葉が香る!ちらし握り」は学内での嗜好調査から分かった大葉が女性に人気が高いという傾向をもとに、大葉を使った広島らしいおむすびをということで開発しました。試行錯誤を繰り返して完成した自信作です。

おむすびは10月中旬より順次、藤三、ビッグハウス各店で発売されます。

\*ひろみらシンクタンク... 企業・団体が抱える課題と各教員をマッチングし、教員の研究成果を活かし、課題解決に向けて取り組みます。

## Topics 4 オンラインスタジオを設置

オンライン授業(オンデマンド型・同時双方向型)の実施やコンテンツ作成、オンライン会議(学会・研究会・研修会)参加支援のため、ビデオカメラ、ミキサー、グースネックマイク等の設備を持つオンラインスタジオ5室を学内に臨時設置しました。本学教職員のほか非常勤講師も利用可能とし、さまざまな教育研究活動シーンでの活用が期待されます。



## Topics 5 大学公式Instagramを開設

本学の公式Instagramアカウントを開設しました。

本学のキャンパスの様子などを発信いたしますので、Instagramをご利用の方は、ぜひフォローをよろしくお願いいたします。

広島修道大学公式Instagram

ID: @shudo\_university

URL: [https://www.instagram.com/shudo\\_university/](https://www.instagram.com/shudo_university/)



## 付録「ランキングに見る広島修道大学」

学外から見た本学への評価として、各種ランキングの一部をご紹介します。

### THE世界大学ランキング日本版2021



(Times Higher Education調べ)

### 企業が欲しがると人材を輩出する大学

国: 国立 公: 公立 私: 私立



1	国 名古屋工業大学
2	私 東京工芸大学
3	私 広島修道大学
4	私 福岡工業大学
5	私 関西外国語大学
	公 高知工科大学

(日経HR「価値ある大学2022年版就職力ランキング」より)

### 2020年度国家公務員一般職試験合格者数



(人事院資料より)

### 公務員採用者数

- ・都道府県・市区町村職員  
..... 中国地方 公私立大学 1位
- ・消防官  
..... 中国地方 公私立大学 2位
- ・警察官  
..... 中国地方 公私立大学 3位

(朝日新聞出版「大学ランキング2022」より)

### 社長の出身数 (企業所在地: 広島県)



(朝日新聞出版「大学ランキング2022」より)

### 【社会人が評価する大学】

- ・卒業生が魅力的な大学
- ・ここ20年で社会的評価が高まったと思う大学

### 【全国の高等学校の進路指導教諭が評価する大学】

- ・生徒に人気がある大学

### 【受験生が評価する大学】

- ・地域や社会と密接に結びつき、貢献している大学
- ・施設設備・立地環境が良い大学
- ・先生や両親から勧められる大学



(大学通信「大学探しランキングブック2021」より)

**1** 前期学位授与式を挙行(9/22)



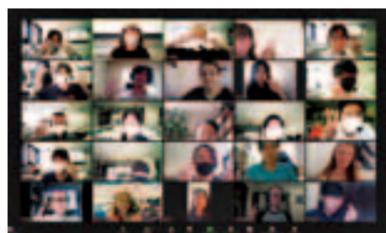
9月22日、2021年度前期学位授与式を7号館学術ホールにおいて挙行了。三上学長より、学部生57名、大学院生2名に学位記が授与され、学長告示では、「より良い社会を築き上げてゆくためには、まず協調することが求められます。同時に、皆さん一人ひとり世界の中にある主役です。それぞれのチームにおいて、力を合わせてより良いハーモニーを生み出してゆく。ハーモニーを一層磨かれたものとしてゆくためには、実は一人ひとりが研鑽を重ね個性を発揮することが大切です。コツコツ努力を続けましょう。しかし自分らしさを失わず、個性を存分に発揮してください。」とエールが送られ、来賓祝辞などにより新たな門出を祝いました。

**2** 日本語・日本文化セミナー 初のオンライン開催(7/5~30)

7月5日から30日の期間、日本語を学習している海外協定校の学生を対象にした「日本語・日本文化セミナー」を初めてオンラインで実施し、5カ国6大学から17名が参加しました。

本セミナーは、日本語および日本文化の知識を修得することを目的に2001年から実施しており、今回で18回目となります。本来は、海外協定校の学生を本学に招き、講義のほか、フィールドトリップやホームステイを通じて日本と広島との文化体験プログラムを提供していました。しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインで実施することとしました。

セミナー参加学生は、レベルに応じた日本語の講義や、「平和に向けた広島の役割」、「日本語の方言(広島弁)」などの日本社会や日本文化についてのさまざまな講義のほか、本学の正規科目にもオンラインで参加しました。また、本学学生との交流イベントも実施し、参加した学生からは「コロナで留学を諦めていたが、オンラインで参加することができて、いい経験ができた」「修大の学生や、他の国々の学生とたくさん話することができて、とてもいい思い出になった」等の感想が寄せられました。



オンラインセタ交流会

**3** キャンパス見学・相談会を開催(7/17・18、8/22)



7月から8月にかけて計3日間、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえでキャンパス見学・相談会(完全予約制)を開催しました。当日は学生スタッフによるキャンパスツアーや入試説明・大学概要説明、学部別相談などのプログラムを実施し、高校生・保護者の皆さまに本学の魅力を発信することができました。

**4** 高校生が大学での学びを体験する高大連携公開講座を開講(8/2~5)



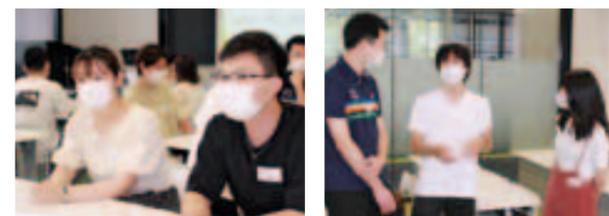
8月2日から5日、主に高校生を対象とした高大連携公開講座を開講しました。本年度は、4日間で8講座を開講し、延べ547名の高校生が参加しました。中でも、大学の学問領域に実際に触れ、大学で学ぶことの意味や大学でのイメージをつかんでもらうことを目的としている「はばだけ未来にむけて—大学での学びと私たちの未来—」では、大学での学びや各学部の学びについて紹介し、講座を聞く高校生の真剣な様子や熱心に講座を受ける姿をうかがうことができました。

参加した高校生からは、「大学や先生方の雰囲気を知ることができました」、「新しい発見もあったので、進路選択に役立てようと思いました」等の感想が寄せられました。

**5** 留学生交流会を開催(7/2)

7月2日、本学に在籍する留学生との交流会を対面で開催し、留学生13名と日本人学生5名の計18名が参加しました。コロナ禍で帰国や友人作りができず孤立しやすい留学生に、日本人学生とのつながりを深めてもらうことを目的としています。

アイスブレイクでは、それぞれの趣味などを紹介し合い、グループごとの交流会では「アニメ」、「映画」、「スポーツ」の3テーマに分かれ、好きな映画やサッカーW杯予選の行方など学生同士で意見を交換しました。参加した留学生からは



「日本人学生と楽しく話ができよかったです」といった感想が寄せられました。

**6** 地域の児童が自然と触れ合うプログラムを学生が企画・実施(7/10)

7月10日、人間環境学部「環境プロジェクト」の一部クラスにおいて、地域の児童が自然と触れ合うプログラムを学生が企画・実施しました。「環境プロジェクト」では、子どもを対象とした自然体験活動を行っている団体や専門家と連携しながら、現場の

指導や行事の企画運営のノウハウを学ぶとともに、学生自ら企画者、実践者として子どもの自然体験活動の運営を行い、地域における自然体験活動の機会の充実を担っています。

今回は、初の実践として、「NPO法人これからの学びネットワーク」と連携し、放課後児童クラブ「コレマナ五日市」の児童35名に対して、広島広域公園にて生き物や植物の観察、採集や創作活動(ネイチャークラフト)を行いました。学生が考えた「森のお弁当づくり」や「自然の造形あそび」などの自然体験活動を体験した児童からは「もっとつくりたい」、「お兄さん、お姉さんたちと遊べて楽しかった」などの感想が寄せられました。



**7** 大学生活の過ごし方セミナーを開催(7/5~15)

7月5日から15日の内5日間、「大学生活の過ごし方セミナー」を6回開催し、延べ132名の学生が参加しました。

在学生を対象に実施したアンケート調査により、多くの学生が学生生活や将来の進路選択に不安を抱えている現状が把握できました。この結果を受け、少しでも学生の不安を払拭できるよう、卒業生キャリアサポーターの協力を得て、全学年対象で本セミナーを開催しました。5日間の日程で、企業で人事を担当している6名の卒業生キャリアサポーターから在学生に対して、自身の大学時代の過ごし方のほか、大学時代に培った社会人基礎力、一緒に働きたいと思う人物像、コロナ禍における就職活動において魅力的に感じる学生の取り組み等についてお話いただきました。

初回をご担当いただいた株式会社モルテンの馬場嘉余子氏(人文学部英語英文学卒)からは、コロナ禍における大学生活の過ごし方として「やりたいことが急に降ってくることはな

い。少しでも興味があることに積極的に取り組むようにすると、いつかやりたいことが見つかる。自分が何にワクワクするかを知ることが進路決定に役立つ。」といったアドバイスがありました。説明会後の質疑応答では学生から多くの質問が飛び交い、本セミナーへの関心の高さが伺えました。説明会の様子は録画し、当日出席できなかった学生も視聴できるよう、本学の就職支援システムで公開しています。

今現在学生が求めていることを提供できるよう、キャリア教育、就職支援を行っていきます。

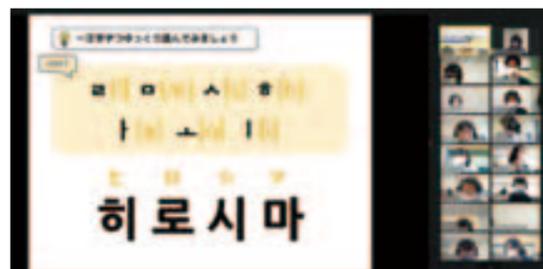


**8 「オンライン大邱ツアー・韓国語講座」に参加(7/16)**

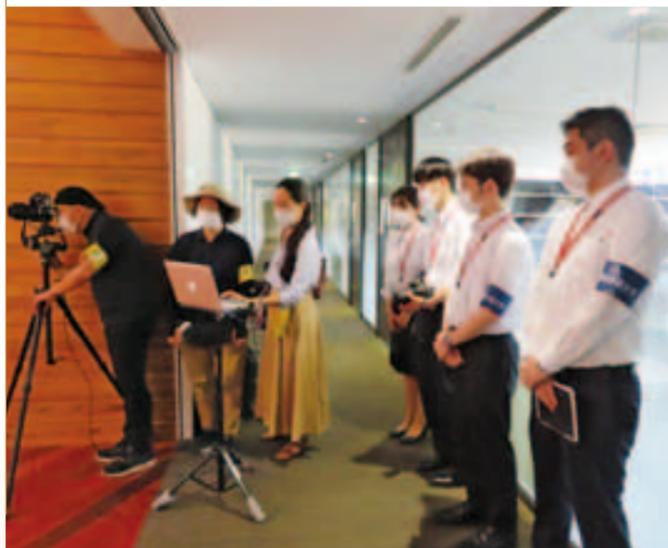
7月16日、国際コミュニティ学部の学生8名とひろしま協創中学校・高校の生徒16名が広島市・大邱広域市(韓国)の姉妹都市交流事業である「オンライン大邱ツアー・韓国語講座」に参加しました。

広島市と大邱広域市は1997年に姉妹都市提携をしていますが、コロナ禍で対面での交流が難しい状況でした。そうした中、大邱広域市の提案により、オンライン大邱ツアー・韓国語講座が開催されることになり、広島市からは大学の学生と中高の生徒が参加しました。当日は、WEB会議システムを使用し、大邱広域市の韓国語講師による韓国語講座を受講しました。さらに、大邱広域市に留学中の日本人学生が作成した動画による大邱の紹介と体験談を聞いた後に、活発な質疑応答が行われました。最後に、1年次に体験実践プログラムで大邱を訪問したことのある4年生が日本語と韓国語でお礼の言葉を述べました。

参加した学生からは、「大邱を訪問してみたい」「韓国についてさらに知りたい、学びたいと思った」などの感想が寄せられました。コロナ禍により海外派遣が難しい状況ではありますが、今回のオンライン交流は、韓国とのつながりを体験できる貴重な学びの機会となりました。



**9 長期インターンシップを実施(8/2～9/10)**



8月2日から9月10日の間、「長期インターンシップ」が開講され、8名の学生が4つの企業・団体で就業体験をしました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で実施できなかったため、2年ぶりの実施となりました。学生たちは約1カ月にわたる期間、企業や団体でさまざまな部署の業務を体験するという貴重な経験をしました。参加した学生からは「就職活動で大切にしたい軸を見つけることができた」、「新たに自分の長所だと言える点に気づいた」、「自分の適性を知る良い機会になった」といった感想が述べられました。

**【実習先企業・団体】** オタフクソース株式会社、広島県坂町、株式会社フレスタ、広島修道大学

**10 修道力フォーラムを実施(8/3)**

8月3日、2021年度第1回FD・SD研修会「修道力フォーラム」をオンラインにて開催しました。テーマを「再考：世界を学び、地域で生きる」とし、教職員331名が参加しました。

第1部「世界を学び、地域で生きる－企業から－」では、本学卒業生の株式会社マリモホールディングス代表取締役社長 深川真氏に「ソーシャルビジネスカンパニーへの道」をテーマにご講演いただきました。

第2部「世界を学び、地域で生きる－大学から－」では、JAMES国際センター長から今後の国際交流プログラムについて、矢野ひろしま未来協創センター長から広島修道大学の知を地域で活かす仕組みづくりについてお話いただき、本学における世界と地域の取り組みへの理解を深めました。



**11 教員免許状講習を開催(8/2～8/7)**



8月2日から7日の内5日間、本学にて教員免許状更新講習を開催しました。この講習は、教育職員免許法に基づき、幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭を対象に行っています。本年度は、63名が受講しました。

「教育の最新事情」、「教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む.)」、「特別な教育的支援を必要とする児童生徒への対応」などの講義が行われました。

**12 教育懇談会を個別相談のみ電話にて実施(9/23～30)**

新型コロナウイルス感染症の拡大による状況悪化を受け、教育懇談会(本学・地区会場とも)の対面開催を中止し、電話に

よる個別相談を行いました。計58名の保証人より、学生生活等の相談を受け付けました。

**13 中学生キャンパス見学会をオンライン開催(6/14・9/2)**

中学生のキャリア形成を目的に、地域貢献事業の一環として、「中学生キャンパス見学会」をオンライン開催しました。6月14日に三次市立布野中学校14名、9月2日に大竹市立玖波中学校17名の生徒が参加しました。

両日とも、本学学生が企画から携わった動画の視聴や、在学生との同時双方向オンライン交流プログラム等を行い、9月2日は中学校の希望を受け、商学部 新本准教授とゼミ生による模擬講義を実施し、大学の授業を体験してもらいました。



**14 海外協定校のオンライン留学プログラムに参加**



啓明大学から届いた韓国のお菓子(授業で使用)

夏季休暇中、本学海外協定校が実施する3～4週間のオンライン留学プログラムに計27名の学生が参加しました。語学学習を中心に、ダンスや調理、文化体験、現地言語での会話など、協定校の学生との交流の場もあり、コロナ禍で海外渡航が制限される中、オンラインで世界とつながり、語学力の向上とともに貴重な国際経験を積むことができました。

**【オンライン留学プログラム実施校】**

- ・啓明大学校(韓国)
- ・仁川大学校(韓国)
- ・ポートランド州立大学(アメリカ)
- ・アリゾナ州立大学(アメリカ)\*

\*グローバルコース生対象

**15 Culture Jamをオンデマンド配信にて開催(8/5)**

例年6月に開催しているCulture Jamを、感染拡大防止のため初のオンデマンド配信で開催しました。

8月5日に無観客にて修大講堂で収録を行い、軽音楽部、ロック部、ダンスサークル、ジャグリング同好会、吹奏楽団が出演しました。音響は音響芸術研究会が担当し、司会や収録などは放送研究会が行いました。オンデマンド配信はCulture Jam実行委員会のYouTubeチャンネルで配信しています。以下よりご覧ください。

Culture Jam実行委員会  
 YouTubeチャンネル



# 修 大

## ANT-Hiroshimaについて 教えてください

ANT-Hiroshimaは、本学卒業生の渡部  
朋子氏が立ち上げた「アジアの友と手  
をつなぐ広島市民の会」というボラン  
ティアグループから始まりました。平和都市・広  
島を活動の拠点とし、国際協力事業・国  
際平和事業・教育事業・講演等広報啓  
発事業などを行っています。

私は、被爆者の方々の人生、姿、言葉  
を形に残すためのプロジェクトである「ヒ  
ロシマ、顔」の制作に携わっています。

## 社会問題に興味を持つ きっかけを教えてください

2年次、2019年9月から2020年4月まで、  
カナダのノーザン・ブリティッシュ・コロン  
ビア大学に交換留学をしました。私が滞  
在していたプリンスジョージでは日本人  
と知り合うことが珍しいようで、日本の政  
治、経済、環境などについて興味津々に  
聞かれることがありました。広島に住んで  
いると言うと、「原爆投下のことをどう思っ  
ているの」とも聞かれ、当時は歴史の知識  
や自分の意見がなく、答えられませんでした。



留学中 カルチャーイベントにて

## NPO法人ANT-Hiroshimaで 被爆者の体験記録「ヒロシマ、顔」を制作中



吉本 絢(よしもと あや)さん  
人文学部英語英文学科4年生(山口県・松陰高校)



他のインターン学生と

会話に馴染めないことが悔しく、同時  
に無知を痛感しました。現地では、授業で  
も日常会話でも、社会問題について積極  
的に話す学生が多かったです。こうした  
経験から、英語は単なるツールであり、そ  
れを使って何を学び、何を話すかが大事  
なのだ気付きました。

## 「ヒロシマ、顔」参加の 経緯を教えてください

帰国後、核兵器をはじめとする社会問  
題について勉強するようになりました。そ  
の中でANT-Hiroshimaを見つけ、イン  
ターンシップへの参加を決めました。被  
爆者の高齢化が進んでいることや、戦争  
や原爆の経験を次に繋いでいく重要性を  
知り、「私にも何かできないだろうか」と  
考え始めました。ANT-Hiroshimaが制作  
する「ヒロシマ、顔」の存在をすでに知っ  
ていたの、私もぜひ関わりたいと申し  
出て、七宝作家であり原爆を経験された  
田中稔子氏への取材と、原稿を書く機会  
をいただきました。

## その他にどのような 活動をしていますか

理事長の渡部氏が、県内外の学校か  
ら依頼を受けて、平和やNPO・NGOに関  
する出張講義をします。私も県内の小学  
校の授業にお邪魔し、「平和とは？」を



テーマに、自身の経験など交えてお話さ  
せていただいたことがあります。私は山  
口出身で、広島のような平和教育を受け  
てこなかったため、先生がどのような想  
いを持っているのか知ったり、授業で子  
どもたちの反応を見たりして、刺激にな  
りました。

## 今後の目標を 教えてください

まず、英語の勉強の継続です。大学生  
活を通して身につけた英語を土台にして  
力を伸ばしたいです。また、社会問題を日  
本語でも英語でも学び、さらに「自分ご  
と」として考えたいです。最近、核兵器  
のことだけでなく、SNSがきっかけで意識  
し始めた環境問題についても少しずつ勉  
強しています。消費するものや、ごみの分  
別に気を付けるようになりました。前はこ  
うしたことに関心を持っていませんでし  
たが、今では新しく知ること、取り組むこ  
とが楽しいです。今後もいろいろなことを吸  
収していきたいです。

## 最後に修大生にメッセージを お願いします

“Make hay while the sun shines” 私の  
好きなことわざで、陽が照っている間に  
干し草を作れ、「好機を逃すな」という意  
味です。やってみようと思ったことには、  
ぜひ飛び込んでみてください。私自身、大  
学内外での活動を通してさまざまな年  
代、職業、国の人々に出会い、学びがたく  
さんありました。皆さんにも積極的に機  
会を掴んでほしいです。

## 卒業生からの便り

Message from Graduate

### 一般財団法人 広島県環境保健協会

馬場田 真一(ばばた しんいち)さん  
人間環境学部人間環境学科  
2007年3月卒業  
(広島県・広島国際学院高校)



### 学内外の活動に精力的に取り組んだ4年間

入学時、文系の「環境」系学部、しかも学部は前年できたばかりの2期生ということもあり、将来は環境問題や対策を分かりやすく伝える通訳的なポジションで働くことを自分なりにイメージしていました。在学中は、市民活動で現場感を知ることやマネジメントスキルを高めようと修大生協学生会や学友会執行委員会、環境サークルがんぼなどに所属して活動しました。執行委員会では、47期・48期の2年間、会計局長として学友会を財務面からサポートしました。学部の仲間と始めた環境サークルがんぼでは、自然体験観光メニューづくりや公民館での環境学習講座など、積極的に学外活動を行いました。その時の縁がきっかけで、今でもつながりを持っている活動もあります。授業はもちろん、学内外の活動を通して、住民目線や企業目線など複数の視点で企画やマネジメントに触れることができたのは大きな財産です。

現在の仕事に出会ったきっかけは大学の授業でした。履修した「環境教育論」の講師を広島県環境保健協会(以下、「環境協」)が行っており、これがファーストコンタクトでした。その後、温暖化学習会で出会った環境協の職員の知識、ワークショップやディスカッションの技術を目の当たりにして、「カッコいい!ついていきたい!」と思うほど感銘を受け、アルバイトを始め、そのまま就職して今に至ります。



小学校への脱温暖化出前講座

### 住民・企業・行政をつなぐ

環境協は、県内に網羅的に組織された住民組織「公衆衛生推進協議会」のパイプ役として誕生し、環境づくり・健康づくりと幅広く住民活動の中間支援を行っています。

就職してからは地域活動支援センターに配属され、主に企画・広報業務に携わっています。リーダー育成研修の企画・実施や、環境協が発行している情報紙「環境と健康」の編集を行っています。住民活動を継続する上では、地域ニーズに合わせた活動が展開できることを広く住民に周知し、協力関係を築くことが欠かせません。そのために、住民活動のノウハウや事例を研修や情報紙で県内に発信しています。

最新の業務では、この6月、広島県の湯崎知事が海洋プラスチックごみゼロ宣言を行ったことに関連して、近県と連携した「瀬戸内オーシャンズX」や広島県版の「GSHIP」に関わっています。県内網羅型住民団体の中間支援組織という特徴を活かし、住民団体・企業・行政と一緒に成果を残せるよう、企画を進めています。

在学中、学外でさまざまな活動を行ったことによる人脈は、社会人になってから、私の武器となりました。助言をもらったこと、時には一緒に仕事をする事ができる諸先輩方がたくさんいたのは非常に心強かったです。



情報紙「環境と健康」の編集

### より地域を元気にするために

4年前、「一般社団法人ふるさと楽舎」を仲間と立ち上げました。当法人では、安佐北区可部を拠点に、過疎が進む中山間地域で、6次産業や地域の魅力を活かした事業などを企画・発信しています。現在は、豪雨災害で被災した田んぼをメンテナンスし、米を作り、酒を造るプロジェクトを進めています。2020年度には私たちのお米でクラフトビール「郷乃米麦酒」を開発・販売しました。売価の一部は中山間地域を元気にする企画に充てられます。今年度は日本酒ができる予定です。

今後は、地域づくりの相談といえど環境協といわれるよう、それを体現した人材になりたいと考えています。そのためにも、公私ともに地域活動の実践事例を積み上げたいと考えています。環境協では海洋ごみと温室効果ガスの削減、ふるさと楽舎では中山間地域で6次産業化など、引き続き最新情報を仕入れ、発信していきます。



地域住民への専門研修

### 百聞は一見に如かず

私が大切にしている考えに「百聞は一見に如かず」という言葉があります。諸説あるようですが、この言葉には続きがあり、聞かぬ→見る→考える→行動する→成果を出す→みんなを幸せにするという内容が続きます。私も、取り組むからには成果をだし、活動した地域の皆さんが豊かになるような仕事をし続けたいと考えています。

コロナ禍で、ボランティア募集などが減り、学外活動を経験する場が失われていると思います。一方で、地道に美化活動や水路清掃を通して、防災や美観確保、プラゴミ対策につなげている住民団体は多くあります。アンテナの張り方を工夫し、今しかない大学生活を充実させてください。かけた時間の分だけ、将来の自分の武器になるはずですよ。

## 軟式庭球部



### 目標をしっかり持ち、力強く上をめざす

現在、軟式庭球部には男子38人、女子18人の計56人が所属しており、仲良く元気に週3回の練習に励んでいます。大会や練習に対する意識も高く、とても良い雰囲気活動することができていると強く感じています。

新型コロナウイルス感染症の影響により思うように大会に出場することができない状況ですが、県内の大会においては団体戦優勝、個人戦では優勝、ベスト8が2ペアと、結果を残すことができています。今後も大会に出場できるか微妙な状況が続くとは思いますが、男子リーグ1部昇格、女子リーグ1部優勝という目標をしっかり持ち、力強く活動していきます。応援の程よろしくをお願いします。

## 自転車部



### 自転車は、「走る」だけではもったいない

自転車部は、毎週水曜日の部会と、1か月に1回実際に走る「ライド」を行っています。今年は新入部員が9人入り、部会では自転車の話だけでなく、学校生活について先輩と話したりするなど、アットホームな雰囲気です。

基本的にライドは集団走行なので、新型コロナウイルス感染症が蔓延していることを鑑みてライドを行わないと判断することが昨年は多かったのですが、今年は広島県の感染状況を見ながらライドを行うなど、少しずつですが活動できるようになりました。また、自転車に関する知識が豊富な先輩のもと、ライド前の安全点検などを行い、事故に遭わないよう安全管理を徹底しています。

風を感じながら走る爽快感はとりこになること間違いなしです！

## 美術部



### アトリエで交流と創作を膨らませています

私たち美術部は、主に文化局ボックスにあるアトリエで絵を描いています。ここで描いた絵は、年に数回行う美術部の展示会や大学祭、CultureJamなどの大学行事にも展示しています。

普段の部活動は、みんなで仲良く絵のことや趣味のことについて話し合いながら、親睦を深めつつ創作活動をしています。しかし、最近では新型コロナウイルス感染症の影響で積極的な活動が難しくなっているのですが、可能な範囲で活動を行えるように工夫をしています。

今後の目標は、展示する作品数を増やせるよう部員みんなが絵を描きやすくなる環境を提供することです。

美術部はみんなが仲良く交流しやすい雰囲気のあるサークルです。展示会を開催した際はぜひ一度お越しください。

## ジャグリング同好会



### ジャグリングを通して笑顔届けるサークルに！

ジャグリング同好会は、毎週月曜日と水曜日の16時半から18時半まで、体育館1階の柔道場で楽しく和気あいあいと活動しています。昨年の11月にできた新しいサークルですが、新型コロナウイルス感染症の影響でサークル活動を行うことが難しかったこともあり、本格的なスタートは今年の3月からになりました。

ジャグリングとは、ものを器用に巧みに操るパフォーマンスで、皆さんの前でパフォーマンスを披露し楽しませることができるよう毎週頑張って練習しています。今年、Culture Jamに初参加しましたので、YouTubeをぜひご覧ください。

ジャグリングを通して皆さんに笑顔届けられるようなサークルになれるよう頑張ります！

## 第61回修大祭を開催します 11/3

### 今年のテーマ『繋～いまこそ笑顔で～』

他者と距離を取る生活が続く中で、改めて学生・教職員・協力して下さる関係者の皆様との繋がりの大切さに気づき、テーマを『繋』にしました！また、多くの行動が制限されている今、皆様に笑顔で楽しんでいただけるよう、「いまこそ笑顔で」という言葉を組み合わせました！

**企画について** 今年度は、入場者を **学内者(在学生・教職員のみ)** に限定します。今年も大学祭当日にトークショーを開催する他、新たに生まれた企画もありますので、ぜひお楽しみください！

#### 体育館前企画 10:00～17:00

体育館前でピースアクセサリーづくり、チェキ撮影、文字集め、第2駐車場でゲーム大会、プレイグラウンドでクイズ大会を開催！豪華景品も有ります！

#### ゲーム教室 10:00～16:00

フォーラム2階で射的を開催！豪華景品も有りますので、獲得をめざしてチャレンジしてみてください！

#### ウッドステージ企画 10:00～17:00

演武祭や軽音楽部、吹奏楽団による演奏会に加え、サークルに所属していない修大生による出し物も開催！フォーラム1階では文化系サークルの作品を展示します！

#### プレイグラウンド企画 9:30～18:30

特設ステージでは、お笑い芸人ライブ、ピンゴ大会、バンド演奏、混声合唱団やダンスサークルによるステージと盛りだくさん！約30店舗の縁日も出店する他、イルミネーションで会場を彩ります！

#### キャンドルナイト企画 10:00～20:00

ハーモニーロードの装飾に加え、18時からの体育館前でのキャンドル点灯により、修大祭を彩ります！プレイグラウンドで手作りできるキャンドルも装飾に使われます！帰り道にぜひお楽しみください！

#### 体育局 主な試合・戦績

サークル名	大会名	成績		
弓道部	第69回全日本学生弓道選手権大会	男子近的	個人決勝初射敗退	橋本 礼央
硬式庭球部	第89回全日本学生テニス選手権大会	男子シングルス	本戦1回戦敗退	岡田 修一郎
			本戦予選1回戦敗退	浅尾 颯人
サッカー部	第45回中国大学サッカー選手権	ベスト4		
卓球部	第71回中国学生卓球選手権秋季大会	男子ダブルス	ベスト8	犬飼 晃生・飯塚 翔一ペア 全国大会出場権獲得
		男子シングルス	ベスト16	高橋 慶任 全国大会出場権獲得
			ベスト32	中塚 大登、馬場 真樹也、犬飼 晃生 西日本大会出場権獲得
軟式庭球部	広島県知事杯学生ソフトテニス大会	優勝 Aチーム ベスト8 Bチーム		
ハンドボール部	中四国学生ハンドボール選手権オープントーナメント大会	1回戦敗退		
陸上競技部	第75回広島県陸上競技選手権大会	男子3000mSC	第5位	竹井 寿明
			第8位	西田 拓矢
		男子三段跳び	第7位	ショウ タイラー 明人
		男子円盤投	第8位	中村 遼伽
		女子400m	第8位	松田 百恵

#### サークル活動スケジュール

サークルの大会・イベントなどの活動スケジュールを大学WEBサイトの「クラブ・サークル」ページ内で公開しています。以下のURLにアクセスして「大会・イベントスケジュール」を選択してご覧ください。右のQRコードからもアクセスできます。

<https://www.shudo-u.ac.jp/lifesupport/club/index.html>



books **刊行物** 本学教員の著書を紹介します

『語られぬ他者の声を聴く イギリス小説にみる  
＜平和＞を探し求める言葉たち』

市川 薫 編著  
関文社出版 2021年3月31日 339ページ 3,300円(税込)



「小説」という文芸様式は、個人を圧殺・消去してしまいかねない「戦争」という事象とどのように向き合ってきたのか。本書は主として20世紀以降のイギリス小説に着目し、そこにみられる「戦争」あるいは「平和」をめぐる名状しがたい言葉を探る論考を集めたものである。

英米SF小説の端緒から20世紀のV.ウルフやG.オーウェル、そして現代のP.バーカー、R.フラナガンにいたる10人に及ぶ作家・詩人を取り上げている。

『憲法のちから：  
身近な問題から憲法の役割を考える』

中富 公一 編著  
法律文化社 2021年4月20日 232ページ 2,640円(税込)



「あなた良心をもっている?」と聞かれたらなんと答えますか。また良心を持つのは自由だとしても、それを貫くことを憲法はどこまで保障していると思いますか?こうした問題を、裁判所や学説はどう考えてきたのか、具体的事件に即しながら検討していきます。自分の尊厳を守るためにその考え方を身につけることは役立ちます。その上で、人権を基礎にして成り立つこの国家の仕組みを理解して貰いたいと思っています。

『Urban Food Deserts in Japan』

佐々木 緑 ほか著  
Springer出版 2021年4月16日 258ページ 17,159円(税込)\*



日本の都市型フードデザート(FD)について、大都市、地方都市、被災地の都市などの事例を世界で紹介する初の英語叢書。FDとは、広義で、生活環境の悪化により食生活が阻害された社会的弱者が集住する、特定の地域のことを指す。特に日本では、人口減少と高齢者の家族や地域社会からの孤立に関連したFD問題が発生している。本書は、日本だけでなく、他国でFD問題に取り組む研究者や政策立案者にとって有用な資料となるだろう。

\*2021年10月1日現在のレート

『プロ野球「熱狂」のメカニズム：  
ファン行動とマネジメントの計算社会科学』

中西 大輔 ほか 著  
東京大学出版会 2021年8月30日 161ページ 4,620円(税込)



『プロ野球「熱狂」の経営科学』の続編として出版され、日本のプロ野球における「熱狂」現象をデータから解き明かした本。中川裕美(本学人文科学研究科出身)との共著である第1章「野球ファンはなぜ野球ファンなのか?—ファンと助け合いの社会心理学」で、自分と同じ集団のメンバーを優遇する「内集団いいき」の観点から、人がいかにファン集団に同一化するのか、全12球団のファンを対象とした大規模な調査の結果から考察した。

受賞報告

人文学部 石田崇助教が2021年度国際デザインコンペティション  
What Design Can Do (WDCD) において、Honourable Mentionを受賞

人文学部 石田崇助教がWhat Design Can Do (WDCD) において、三竝康平氏(帝京大学経済学部講師)と大脇淳一氏(OJAR一級建築士事務所代表)と共に、“Vegeme” というアイデアでHonourable Mentionを受賞しました。

WDCDは、気候変動問題の解決に向けて、IKEA Foundationや駐日オランダ王国大使館等によって運営されており、今回は“No Waste Challenge” というテーマで、さまざまな廃棄物問題を解決するためのアイデアが募集されました。

Vegemeは、大学キャンパスなどで発生する生ごみに注目し、それらをリサイクルすることで、消費者にエコロジーな食品を提供する「真の」持続可能な循環システムを構築するアイデアを提案しました。石田助教は、言語監督としてVegemeチームに貢献され、Vegemeは全世界から寄せられた1409件の応募の中から85件のファイナリストとなり、最終的に、持続可能なデザインの模範とすべきアイデアとして優秀賞の16件を含む上位21件に選ばれました。

詳細: <https://nowaste.whatdesigncando.com/projects/vegeme/>

Event Guide

Hiroshima Shudo University

EVENT CALENDAR

(10/1現在)

11 November

- 11/ 1(月) 総合型選抜・帰国生選抜合格発表
- 11/ 2(火)~9(火) 学校推薦型選抜(公募・指定校・附属校) インターネット出願受付
- 11/ 3(祝・水) 修大祭
- 11/ 4(木) 開学記念日
- 11/ 8(月)~12(金) 第3学期試験
- 11/10(水) 第7回就職ガイダンス(WEB配信)
- 11/12(金) 初年次教育セミナー
- 11/15(月) 大学院生のための就職ガイダンス
- 11/16(火) 留学生のための就職ガイダンス
- 11/20(土) 学校推薦型選抜(公募)
- 11/21(日) 学校推薦型選抜(指定校・附属校)
- 11/23(祝・火) 授業日
- 11/25(木)・26(金) 集団面接トレーニング【対面】
- 11/29(月) 公務員合格体験報告会
- 11/29(月)・30(火) 集団面接トレーニング【Web】
- 11/30(火) 図書館 整理休館日

12 December

- 12/ 1(水) 学校推薦型選抜(公募・指定校・附属校) 合格発表
- 12/ 2(木)・3(金) グループディスカッショントレーニング
- 12/ 4(土) 2021年度卒業生との交流会~仕事・働き方を知ろう~
- 12/11(土) 第2回筆記試験対策模試
- 12/13(月)~22(水) 社会人選抜出願受付  
学校推薦型選抜(指定校)  
(商学部・後期日程) インターネット出願受付  
編入学・学士入試(商学部のみ) 出願受付
- 12/13(月)~27(月) 学校推薦型選抜(指定校)  
(国際コミュニティ学部・後期日程) 出願受付  
外国人留学生選抜出願受付
- 12/13(月)~1/31(月) WEB入試直前対策講座公開
- 12/14(火) 就職活動体験報告会
- 12/15(水) 図書館 冬の図書長期貸出開始
- 12/16(木)~22(水) 入学準備学習プログラム  
第1回Webキャンパス学習Week
- 12/25(土) 冬季休暇(1/6迄)
- 12/28(火) 図書館 整理休館日

2022

1 January

- 1/ 6(木) 冬季休暇終了
- 1/ 4(火)・5(水)・6(木) SPI直前対策講座
- 1/ 4(火)~14(金) 一般選抜(前期日程)、  
共通テスト利用選抜(前期日程)、  
一般・共通テスト併用選抜インターネット出願受付  
(窓口受付1/17(月)・18(火))
- 1/ 7(金) 後期・第4学期試験時間割発表(時間割に注意)
- 1/ 8(土) 外国人留学生選抜・学校推薦型選抜(指定校・後期日程)・  
社会人選抜・編入学・学士入試
- 1/12(水) 第8回就職ガイダンス(WEB配信)
- 1/18(火)~24(月) 第4学期・後期試験
- 1/11(火)・13(木) 自己分析・自己PR対策講座
- 1/13(木) 外国人留学生選抜・学校推薦型選抜(指定校・後期日程)・  
社会人選抜・編入学・学士入試合格発表  
図書館 冬の図書長期貸出返却日
- 1/14(金) 共通テスト準備  
学長表彰推薦書提出締切
- 1/15(土)・16(日) 大学入学共通テスト
- 1/18(火) 図書館 春の図書長期貸出開始
- 1/31(月) 図書館 整理休館日

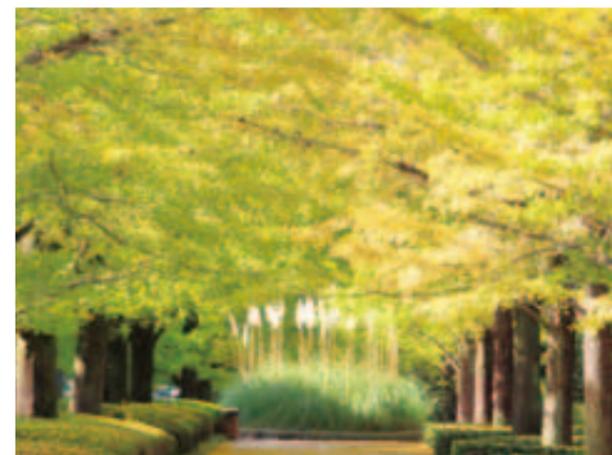
\*予定は変更になる場合があります。  
\*今後の予定については、WEBサイトなどでご確認ください。

保健室より

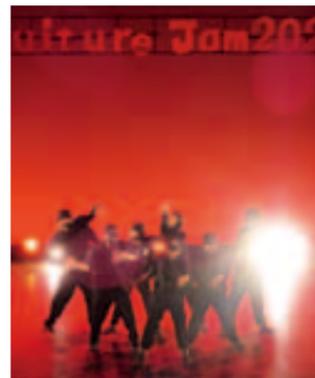
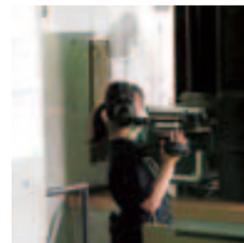
新型コロナウイルス感染症はウイルスの変異を繰り返し、流行が収まらない状態が続いています。ワクチン接種は進んではいますが、もうしばらくは安心しないで、これまで通りの感染症対策をとってください。

引き続き、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどの感染症と診断されたら保健室へ報告してください。

【問い合わせ先】保健室 Tel 082-830-1118



# 1



# 2



アンケートにご協力ください。

「広報誌Truth」および「本学広報」について、ご意見・感想をお聞かせください。  
 いただいたアンケート内容は今後の誌面作りおよび広報活動に活用させていただきます。  
 また、アンケートでプレゼントを希望された方の中から、抽選で修大オリジナルグッズをプレゼントします。

アンケートは以下のURLもしくはQRコードからWEB上にてご回答ください。  
<https://forms.gle/Js431Edzc56ykaGJ9>



PRESENT

計20名



ボールペン

ソフトリングノート(A5)

ココフェンカード

抽選で計20名様に「修大オリジナルグッズ」いずれか1点をプレゼント!  
 応募締切:12月23日(木)  
 ※プレゼントは選べません。  
 ※当選者にはメールにてご連絡します。

# 3



- ①キャンパス見学・相談会を開催しました (P12 News3 参照) (8/22)
- ②第2グラウンド(サッカー場)の人工芝を張り替えました (P9 Topics2 参照) (9/21)  
 この度の張り替えで、昨年度作成したスポーツロゴを配置しました。
- ③Culture Jam を収録・配信しました (P15 News15 参照) (8/5)

## 広島修道大学公式SNS

各種SNSで修大の情報を発信しています。  
 ぜひフォローをお願いします!



@shudo\_u



@shudo\_university



広島修道大学公式チャンネル



@HiroshimaShudoUniversity